

明石のまちを良くするしくみ

令和3年度

赤い羽根共同募金



運動期間 令和3年(2021年)10月1日~12月31日


目標額 赤い羽根共同募金 20,873,000円 歳末たすけあい募金 3,000,000円



令和2年度募金実績

たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました

 赤い羽根共同募金
16,603,128円

 歳末たすけあい募金
2,474,498円



赤い羽根共同募金は、前年度の募金実績をもとに翌年度に兵庫県共同募金会から明石市共同募金委員会へ配分され、計画的に活用されます。

令和2年度配分実績 (令和元年度 赤い羽根共同募金)

17,207,920円

県内の福祉施設・団体への助成	4,818,920円
明石市社会福祉協議会への配分	12,389,000円

→ 次のページで詳しい使いみち(活用)をご紹介します。

活用の一例

「ボランティア はなぞの」さま

年末年始を元気に過ごしてもらおうと、望海中学校の生徒とともに高齢者宅を訪問し、手書きのメッセージカードと花苗を贈りました。皆さまからの貴重な募金が、対象者の方々の笑顔となりました。心から感謝申し上げます。

マスクなしで、思いきり笑って泣ける普段の生活が戻ってくることを願っています。



社会福祉法人兵庫県共同募金会
明石市共同募金委員会
(事務局 明石市社会福祉協議会)
〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号
明石市立総合福祉センター内
電話:078-924-9105
FAX:078-924-9109
メール:akaihane-akashi@akashi-shakyo.or.jp



インターネットでも募金できます。

<https://www.akaihane.or.jp/donate/>

赤い羽根

検索

「寄付する」ボタンを押して、都道府県・市町村を選択し、必要事項をご記入ください。



赤い羽根共同募金の使いみち

●すべての地域住民 ●高齢の方 ●障がいのある方 ●子どもたちのために

地域団体の活動支援 2,440,000円

高齢者福祉活動事業

連合まちづくり協議会、高年クラブ連合会の活動を支援しています。

連合まちづくり協議会では、配分金により「自治会・町内会ガイドブック」と「加入促進マニュアル」を発行しました。共同募金にご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。



児童・青少年福祉活動事業

明石市連合こども会育成連絡協議会、明石乳児院、民間保育施設が実施する事業や遊具の購入などの費用の一部を助成しています。



障がい児・者福祉活動事業

障がい者支援施設や当事者の会の活動を支援しています。



障害者支援施設 博田園さま 交流会



当事者の会 情報交換会

住民福祉活動事業

- ・民生児童委員協議会の活動支援
地域福祉を推進するうえで欠かすことのできない民生児童委員協議会の活動支援を行っています。
- ・更生保護の推進
更生保護を目的とした保護司会や更生保護女性会、社会を明るくする運動などの活動を支援しています。

地区社会福祉協議会の活動支援 3,808,751円

住民参加による福祉活動を行うため、市内22地区で地区社会福祉協議会(地区社協)を組織しています。それぞれ地区社協が主体となって行う地域福祉活動を支援しています。

(活用の例) 福祉体験会、ボランティア団体助成、ふれあい会食、障がい者交流など

小地域福祉活動支援事業 945,000円

世代を問わず、「無理なく」「気軽に」身近な場所に集えるよう実施している居場所活動の支援を行っています。令和2年度は、コロナ禍での活動継続に向けた工夫をするグループへの活動助成も柔軟に行いました。



ふれあい訪問事業 660,000円

高齢の方や障がいのある方などが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう定期的にボランティアが訪問し、閉じこもりや孤立を防ぐための活動を支援しています。



公募配分事業 985,000円(10団体)

市内で活動する福祉団体・ボランティアグループ、自治会・町内会、福祉施設などが行う事業に対して、費用の一部を助成しています。広く公平に共同募金による支援が行き渡るようにするとともに、地域のつながりづくりや支え合いの促進を図ることを目的に実施しています。

※助成については、地域の代表者により構成されている募金等配分検討委員会において、審議し決定しています。

公募の一例

共同募金より、夢広場うおずみ(旧:夢文庫うおずみ)さまへ「給湯器設置」の一部を助成しました

小さな子どもから高齢者まで、たくさんの方が温水器を利用しています。

寒い冬に冷たい水で手を洗うのを嫌がる子どもたちでしたが、温かいお湯が出るようになり、しっかりと手洗いができるようになりました。キッチンでもお湯が使える、カフェでほっと一息... たくさんの笑顔が見られています。

共同募金へのご寄付をありがとうございました。



※夢文庫うおずみは、令和3年8月に地域のつどい場事業「夢広場うおずみ」として生まれ変わりました。

認知症当事者等集いの場運営事業 200,000円

認知症の方やそのご家族が昼食やレクリエーションを通じて楽しいひとときを過ごす「集いの場」の運営を応援しています。



福祉学習推進事業 102,000円



ボランティアの協力を得て、小中学生や大学生に対し、点字・手話・車いす・ガイドヘルプなどの体験学習や災害ボランティア被災地体験の講話を実施しています。また、地区社会福祉協議会が主催する福祉体験学習について費用の助成も行っています。

車いす貸出事業・福祉機器リサイクル事業 376,382円

一時的に車いすが必要な方に対して、コミセンや自治会館、総合福祉センターにおいて貸出を行っています。また、不用となった電動ベッドや車いすなどの福祉機器のうち、再利用が可能なものをボランティアの協力により点検整備し、必要とされる方にお譲りしています。

共同募金は、設置用車いすの購入、ボランティアによるリサイクル品や車いすの点検・整備費用などに活用しています。



こども版公募配分事業 (小学校児童会等に対して) 235,667円 (5件)

市内の小学校・養護学校・中学校・高等学校に通う子どもたち自身が共同募金の使いみちを考え、学校等を通して公募申請を行うことができる取組みです。共同募金が身近に存在すること知ってもらうとともに、児童・生徒の福祉に対する意識を醸成する機会としています。

(配分の例) 卒業生を送る会の代替行事、母校の周年行事など



学校での啓発活動の様子

情報発信推進事業 1,778,298円

- ・明石市社会福祉協議会の広報紙「あかしの社会福祉」の発行やホームページ運営を行い、市民にとって必要な福祉情報を届けています。
- ・ボランティア活動に係る広報活動に活用しています。



地域福祉活動計画 199,952円

住民の皆さまと一緒に作る地域福祉の推進を目的とした「地域福祉活動計画」策定に係る費用の一部を助成しています。

事務費 80,080円

振込手数料や郵送料など

歳末たすけあい募金の使いみち

令和2年度の募金実績をもとに配分された配分金を活用し、令和2年度に実施した事業です。

施設・団体等交流支援事業 1,904,736円

歳末期に行う地域や施設での交流事業や、地域での見守りが必要な世帯への訪問事業などに対して支援を行いました。



歳末見舞品配付事業 524,000円

小学校、中学校、養護学校を卒業予定で、要件を満たす児童・生徒に対して、見舞品の配付を行いました。

ありがとうメッセージ



兵庫県共同募金マスコット「あかはねちゃん」

赤い羽根共同募金

社会福祉法人明桜会 大地の家さま

障がい者福祉施設にて、利用者様の入浴支援のためシャワーチェアを購入しました。

赤い羽根共同募金により購入した備品をこれからも大切に活用させていただきます。



明石障がい者地域生活ケアネットワークさま

施設外に移動する際に必要な車いすを購入し、利用者様が安心して出かけることができるようになりました。

貴重な募金を配分金としていただき、とても感謝しています。



明石市連合子ども会育成連絡協議会さま

親子の対話や友だちづくりを推進することを目的に「第42回 子ども会親子釣り大会」を実施しました。コロナに負けじと、多くの家族がご参加くださり、有意義な時間を過ごすことができました。

共同募金より子ども会会員へ助成をいただき、誠にありがとうございます。



歳末たすけあい募金

松が丘いきいき会さま

いただいた配分金で、年末にふれあい訪問を行いました。高齢者の近況や体調を伺うとともに、ボランティア手作りの品と菓子を贈り、大変喜ばれました。募金にご協力くださった皆さまの善意に感謝し、厚くお礼申し上げます。



二見はまなす会さま

毎年、高齢者と園児のクリスマス交流会を実施しています。令和2年度は感染症対策から高齢の方々のみで交流会を実施しましたが、みな笑顔で、心豊かな時間を過ごすことができました。園児へは、手作りのフェルトサンタとお菓子を持参すると、子どもたちの目がキラキラと輝いていました。

共同募金にご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。

